

佐川急便 ご説明資料



SGホールディングスグループ 事業概要

デリバリー事業

日本全国に輸送網を有し、宅配便を中心とした各種サービスを提供しています。



佐川急便

グループの中核会社として、飛脚宅配便をはじめとする物流のトータルソリューションを提供。宅配便のシェアは国内宅配便個数の約3割を占めています。



佐川ヒューモニー

電報サービスVERY CARDを提供しています。



SGムービング

引越輸送、設置輸送に加えてオフィス等の内装デザインから施工までを請け負うアーキテクト事業等を展開しています。



ワールドサプライ

百貨店・大規模小売店向けの納品代行や館内配送までを一括して請け負うなど幅広いサービスを提供しています。

ロジスティクス事業

3PL・通関・フレイトフォワーディング（国際利用運送）事業などを国内外で展開し、お客様のサプライチェーン全域にわたる物流サービスを提供しています。



佐川グローバルロジスティクス

物流コンサルティングやプラットフォーム物流、オーダーメイド物流、輸送チャーターなど、3PL事業を展開しています。



SGHグローバル・ジャパン

国際物流、国際輸送から物流倉庫事業まで担い、グループネットワークで国内外一貫物流を提供しています。



EXPOLANKA（エクスポランカ）

2014年にグループに加わったスリランカ最大手のグローバルフレイトフォワーダーであり、世界29の国・地域の約60か所にて事業を展開しています。

不動産事業

グループの重要インフラである物流施設などを中心に、不動産の開発・活用・管理をおこなっています。



SGリアルティ

主にグループのコア事業である物流関連の不動産を対象に、開発・賃借・管理事業展開しています。

その他の事業

自動車整備、ITシステム、ファイナンス、人材派遣など、中核事業をサポートする分野で、多彩な事業を展開しています。



佐川アドバンス

保険販売、燃料販売、施設運営、商品や旅行・イベントサービスの企画販売事業などを行っております。



SGモータース

車両整備・車両販売・ボディ販売事業を展開しています。



SGシステム

国内最大級の貨物追跡システムをはじめとする各種物流システムを開発・運用するほか、多様な決済サービスや社内向けのシェアードサービスを提供。



SGフィルダー

物流拠点における人材派遣・人材紹介、業務請負などを提供しています。

数字で見るSAGAWA

グローバルネットワーク

34 の国と地域
142 社



「アジアを代表する総合物流企業グループ」を目指し、世界各国で事業を展開しています。

外部ネットワーク 幹線輸送の協力会社数



約 **310** 社

宅配サポーター数



約 **3,600** 社

TMS協力会社



約 **1,620** 社

従業員数

94,087 名

従業員情報はすべてグループ全社対象

- 平均年齢 41.4歳
- 正社員 53.1%
- その他 46.9%
- デリバリー職人数 75,105名
- 外国籍人数 7,806名

女性比率 **33.5%**



女性32,340人

男性64,196人

車両台数

27,435 台

グループ全体で保有する車両台数の合計



拠点数

1,462 拠点

グループ各社の本社、事務所、営業所などの合計



取扱個数（国内）

14億1,000 万個

SGホールディングスグループ
の主要商品2022年度取扱個数累計



保有する森の面積

862.59 ha

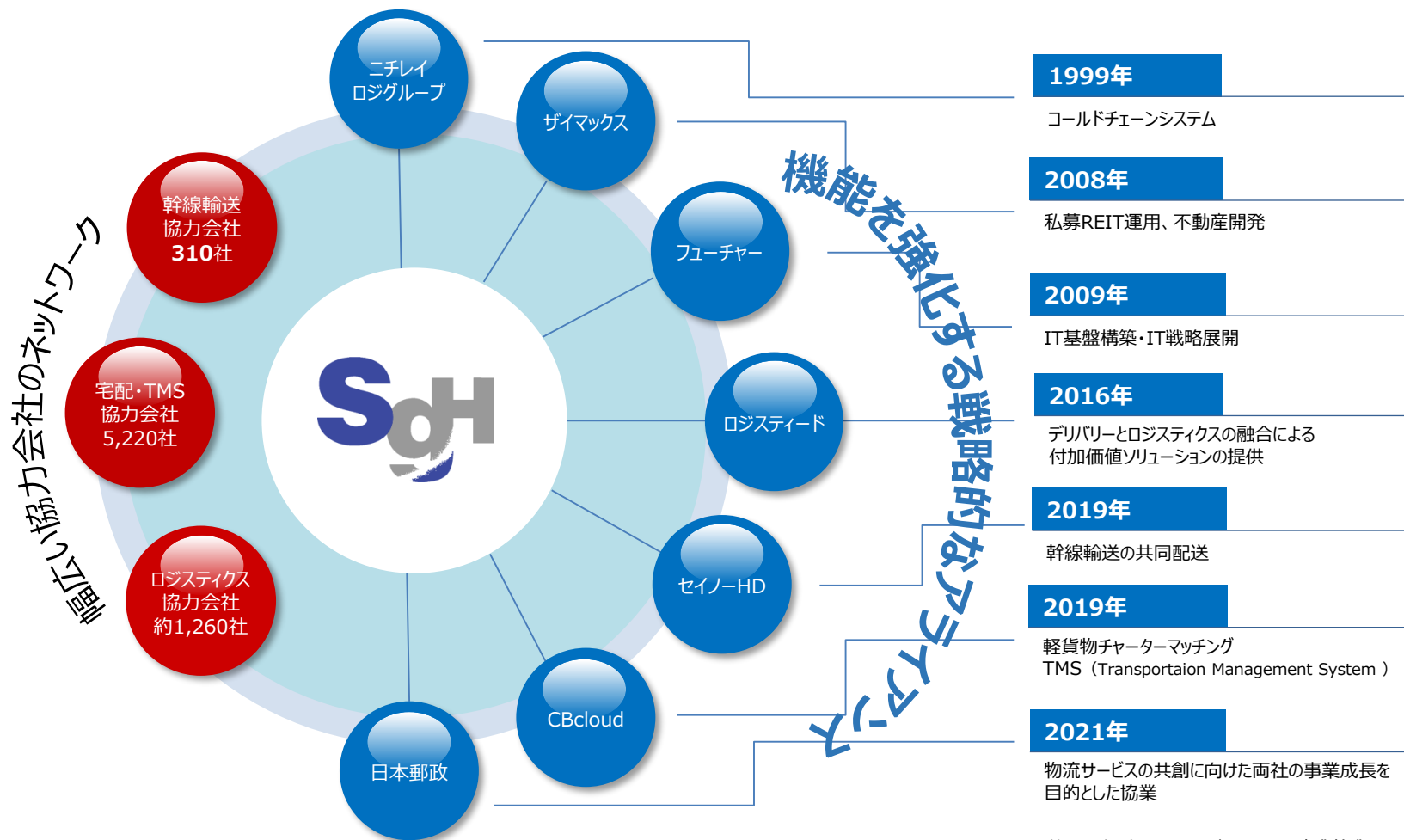
（東京ドーム約183個分）

グループ事業会社である佐川林業
および佐川急便が高知県・
徳島県・東京都内に所有する
森林面積の合計



パートナー・アライアンス先様との取り組み

お客様の多様なニーズに対応するため、外部との連携を幅広く行い、同業の運送業のみならず、軽貨物マッチングなどの異業種企業とも連携するなど、戦略的なアライアンス関係を構築



タウンサポート(地域レジリエンスの強化)

自治体との**災害協定**や「地方創生、地域活性化」に資する**包括連携協定**を締結し、日頃から地域と**顔の見える**関係づくりを推進。企業間での災害相互協定を締結し、異業種企業、同業他社との災害時等における**連携・協働体制づくり**を促進しています。

災害協定

地域防災と、災害時における救援物資の集配、仕分け、保管、輸送、人材派遣等

合計	中央省庁	自治体		行政機関	大学民間企業等
		都道府県	市区町村		
304	1	12	272	11	8

2023年8月31日現在

包括連携協定

1. 地域防災と、災害時における支援等
2. 観光振興及び観光情報の発信
3. 地域特産品の流通・販売促進
4. 子ども・青少年の育成
5. 高齢者・障がい者支援
6. 環境保全に関すること
7. その他地域の活性化

合計	自治体		
	都道府県	市区町村	企業
87	24	61	2

2023年8月31日現在



指定公共機関との合同訓練（東京都）



企業交流会（研究会）



総合防災訓練



S社様被災地支援キット保管

スワップボディ車の活用

長距離輸送時、途中の地点で車両部分と荷物部分を分離し各ドライバーの
運行時間を短縮する

【Before】

到着地：大阪

2 営業日で往復運行

出発地：東京



【After】

到着地：大阪

8 時間で往復運行

出発地：東京



リードタイム：増加なし

1人で運行していた際の休憩時間
= 載せ替え時間となるため大きな変化なし

コストの変化なし

- ・ 車体部分（シャーシ）：外注先が購入
- ・ 荷物部分（ボディ）：佐川急便(株)が購入し外注先にレンタル

働く環境の変化

- ・ 荷役分離でドライバーの出庫時間を調整でき拘束時間の短縮ができる
- ・ 2日間に跨る運行から1日で往復運行
- ・ ドライバーは毎日家族と過ごせる

- ・ その他の運行については、トレーラー（連結車両）の活用や運用変更等に対応予定
- ・ 2022年スワップ運行実績年間36,000運行

高速フェリーの活用

従前トラックで輸送していた長距離輸送を高速フェリーで代替する

東京九州間のフェリーは運航時間が3 5時間と
宅配便の日数定義に合わなかった

2 0 2 1 年に開業された九州東京フェリーでは
運航時間 2 2 時間と宅配便定義に合うようになった



- ✓ **リードタイム：ほぼ増加なし**
一部エリアで半日遅れが出る以外は増加なし
- ✓ **2022年 年間実績9,300台の内航実績**

【その他の利点】

- ✓ **モーダルシフトによる環境負荷軽減**
- ✓ **BCP対応（輸送モードの分散）**
- ✓ **働く環境変化**
乗務員の運転時間短縮
トレーラーによる荷役分離

